

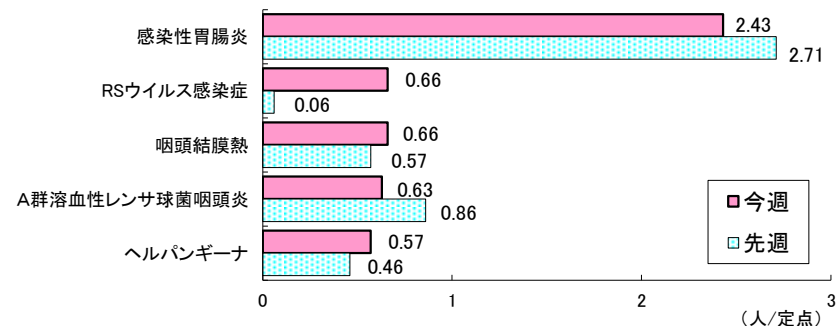


【第28週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で10%減少しています。保健所別では、能代、秋田中央、由利本荘で増加、大仙で同規模、秋田市、大館、北秋田、横手、湯沢で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で約11倍に増加しています。保健所別では、大館、秋田中央、由利本荘で増加、秋田市で同規模となっています。
3. 咽頭結膜熱は、県全体で16%増加しています。保健所別では、能代、由利本荘、大仙で増加、秋田市、湯沢で同規模、大館、秋田中央で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減			
RSウイルス感染症	0.06	0.66	↗	0.29	0.29			0.25	↗						0.75	↗		4.25	↗											
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.57	0.66	↗	0.71	0.71		2.00	1.25	↘				0.33	↗	0.75	0.50	↘	1.25	↗	0.50	0.75	↗				0.50	0.50			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	0.63	↘	2.14	1.29	↘		1.00	↗				0.67	↘	1.50	1.25	↘	0.25	0.25	0.25	0.50	↗	0.33	↘	1.00	0.25	↘			
感染性胃腸炎	2.71	2.43	↘	2.86	2.29	↘	6.25	3.25	↘	2.50	2.00	↘	4.67	6.33	↗	1.25	2.50	↗	0.50	1.75	↗	0.50	0.50		3.67	2.33	↘	2.75	1.75	↘
水痘	0.20	0.14	↘	0.29	0.29										0.50	0.75	↗										0.75	↘		
手足口病	0.09	0.09		0.14	0.14								0.33	↗				0.50	0.25	↘										
伝染性紅斑	0.06		↘												0.25	↘								0.33	↘					
突発性発しん	0.23	0.46	↗	0.43	0.86	↗	0.25	1.25	↗		0.50	↗						0.25	↗	0.75	0.50	↘	0.33	0.33						
ヘルパンギーナ	0.46	0.57	↗	0.29	0.14	↘							0.33	↘		0.25	↗	0.75	↗	2.75	2.75		0.67	1.00	↗		0.25	↗		
流行性耳下腺炎	0.06	0.20	↗	0.14		↘	0.25	0.50	↗																					
川崎病		0.03	↗																				0.33	↗						
急性出血性結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*	*	*							1.00	↘	*	*				
流行性角結膜炎	0.29	0.29		0.67	0.33	↘				*	*		*	*	*	*							1.00	↗	*	*				
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	1.88	0.50	↘	2.00		↘				5.00	3.00	↘			*	*					1.00	↗	1.00	↘		7.00	↘			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.25		↘												*	*							1.00	↘		1.00	↘			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が横手保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-27週	28週	
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
二類	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	10887	59	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
三類	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	2		
	細菌性赤痢	93		
四類	腸管出血性大腸菌感染症	1064	3	
	腸チフス	18		
	バラチフス	11		
	E型肝炎	220		
	ウエストナイル熱			
五類	A型肝炎	510		
	エキノкокクス症	7		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	1		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	39		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎	1		
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-27週	28週	
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	89		2
	デング熱	65		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	93		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	フルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	2		
	マラリア	23		
野兔病				
ライム病	1			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	868	1	1	
レプトスピラ症	2			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	428		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	111	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	862	4	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	14		
	急性脳炎	390	5	
	クリプトスポリジウム症	10		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	109	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	404	5	
	後天性免疫不全症候群	643		
	ジアルジア症	39		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	256	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	22		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2037	11	
	水痘(入院例に限る)	217	5	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	3409	6	1
	播種性クリプトコックス症	93		
	破傷風	52		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	28		
	百日咳	3023	19	1
	風しん	49		
麻しん	185			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9			

トピックス

<ヘルパンギーナや手足口病の流行期が近づいてきました>

学校等の夏休みを間近に控え、夏本番を迎えようとしています。例年、この時期にはエンテロウイルスによるヘルパンギーナや手足口病が全国的に流行します。今年もすでに流行の立ち上がりが見られています(図)。秋田県内は、全国からやや遅れて流行が始まる傾向にありますので、今後の動向にご注意ください。

●エンテロウイルス

エンテロウイルスには70以上の型があり、主流となる型が入れ替わりながら、毎年流行しています。そのため一度感染しても、別の型に再度感染することがあります。

●症状

感染すると、40℃近い高熱とともにのどや口腔に痛みを伴う水疱性の発しんが現れます(ヘルパンギーナ)。また、軽い発熱、口腔内の発しんとともに、手足などにも2~3mmの発しんが現れることもあります(手足口病)。のどの強い痛みのために飲食が困難になる場合もありますので、脱水症状等を起こさないように注意してください。患者の多くは1週間程度で回復しますが、中には無菌性髄膜炎を併発する場合があります。意識障害等の重い症状が見られたら、速やかに医療機関を受診しましょう。

●予防

患者のつばや便に排出されたウイルスを、手指を介して鼻や口から摂取してしまうことで感染が広がります(接触感染)。回復後も2~4週間はウイルスの排出が続くとされていますので、日常的な手洗いを心がけましょう。

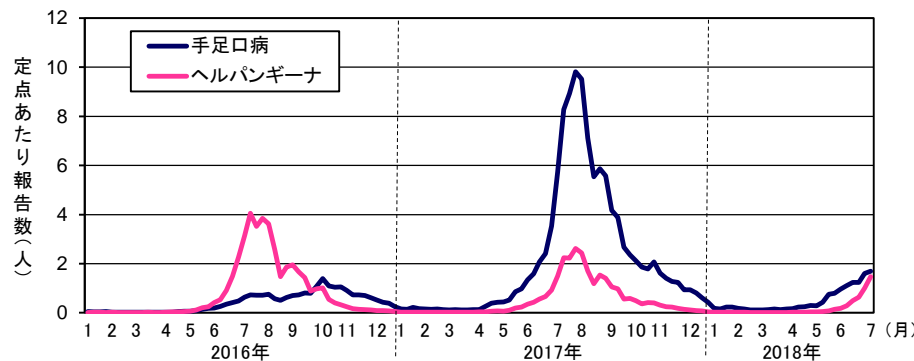


図 全国における手足口病とヘルパンギーナの定点あたり患者数の推移(2018年第27週現在)



感染性胃腸炎情報

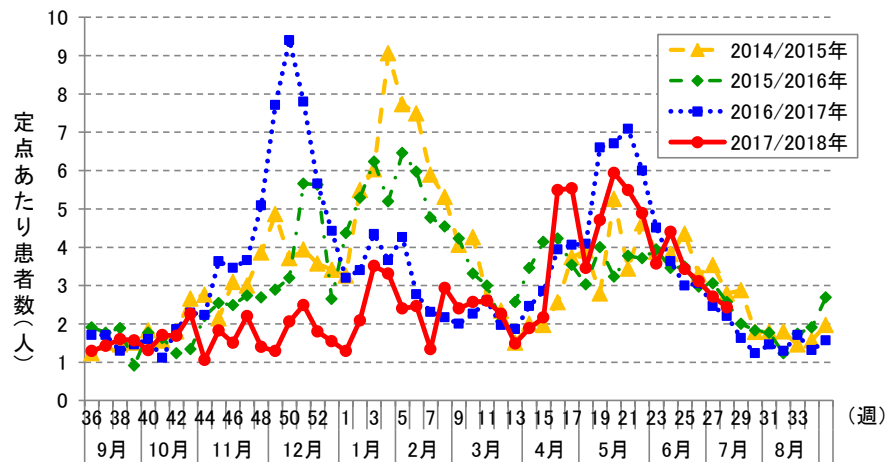


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

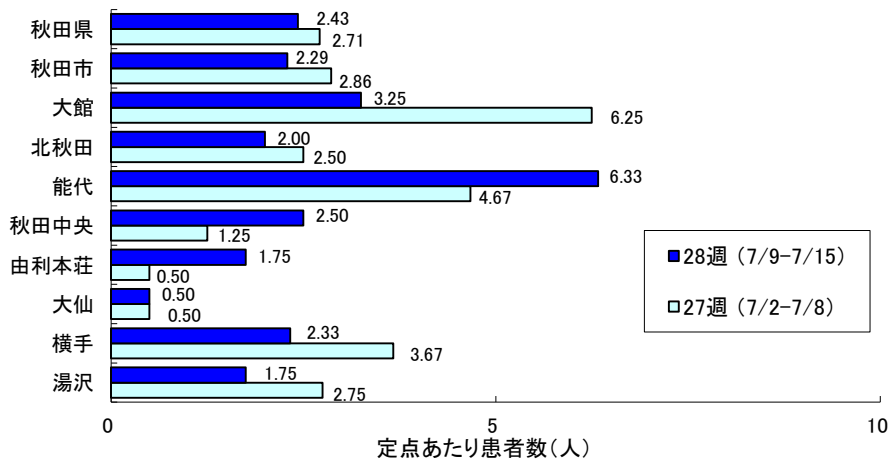


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

No. 24

発生届出日 平成30年7月11日
 受付保健所 由利本荘保健所
 施設名称 西目保育園
 有症者数 園児51名のうち13名
 把握期間 7月9日から7月11日まで
 症状 下痢

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 24施設 発症者 365名
 <保育所・幼稚園 24>

【参考】

平成29年度 42施設 発症者 637名

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			警報			
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		